

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	南信州の人形劇・獅子舞・サブカルチャーの複合芸能文化「南信州天昇オロチ」による南信州地域の文化振興
事業主体 (連絡先)	南信州複合芸能文化の会 南信州複合芸能文化の会事務局 0265-43-4343(担当:逸見)
事業区分	(3)教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	3,560,445 円

事業内容

- ①8月4日(土)第40回飯田人形劇フェスタ参加(参加者 25名)
人形浄瑠璃を取り入れた「南信州天昇オロチ」出演。人形芝居は地元の今田人形保存会の方から指導を受け、黒子の衣装を身に着けた操り手がオリジナルの革人形を操作し舞台を務めた。同日行われた人形劇パレードにも参加。
- ②10月21日(日)第11回南信州獅子舞フェスティバル参加(参加者 28名)
いいた人形劇フェスタで披露した人形芝居をはじめ、地元の伝統芸能者から教わった本格的な獅子舞やこの日のために作調された曲「みまくり節」も披露。
- ③11月3日(土)第12回飯田丘のまちフェスティバル参加(参加者 30名)
県内外からのコスプレの参加者の受付にて行なったオロチ舞へのダンス参加の呼びかけや子供向けのオロチダンスの練習などにより、一般参加も多く大いに盛り上がった。



【南信州獅子舞フェスティバル】

事業効果

- 1 飯田人形劇フェスタでは2回の公演で約500人。南信州獅子舞フェスティバルでは5回の公演で約800人。飯田丘のまちフェスティバルでは1回の公演で数十人を集客した。従来になく南信州の文化を融合した演舞に、各保存会の方々や小さなお子さんが大変興味を持って観てくれていた。
- 2 演舞の前後では南信州の伝統継承芸能や他イベントの紹介もさせていただき、人形劇フェスタをご覧になった何人ものお客様が「オロチ舞を観に来た」と獅子舞フェスタにも来てくれた。獅子舞フェスタ実行委員長からは「天昇オロチも獅子舞を継承していく上で必要な要素だと感じた」とおっしゃっていただいた。動画や写真などがSNSなどで拡散されており、南信州地域の文化芸能と共に今後広がりを見せられる。
- 3 今回オロチ製作に関わった伊賀良保育園の園児・保護者の方や、製作途中の様子をSNSを見て関東地域からわざわざ演舞を見に来てくれた観客の方など、従来まで催事イベントに興味のなかった層への訴求をすることができた。

【目標・ねらい】

- ①各フェスティバルに来場されるお客様に横の繋がりを持たせる
- ②南信州の芸能への関心を高める
- ③各イベントの集客力アップ
- ④多イベントの告知宣伝

※自己評価 【A】

【理由】

今年初参加の団体ながら、新聞各社、テレビ放送など多くのメディアにも取り上げていただき認知度が予想以上に高まった。また、予想以上にオロチ舞を観たいという観客が、他のイベントにも駆けつけてくださり、各イベントの集客効果にも貢献できたこと。

今後の取り組み

今年の3回の演舞内容を、地元伝統芸能の皆さんのご指導のもと更に高めていくために、定期的な稽古の場を設けていく。メンバーがボランティアで地元保育園に交通安全教室を行なっているため、獅子舞屋台が牽引車で移動が容易である利点を活かし、オロチが登場する交通安全教室も作成し、次世代を担う子供達に南信州の伝統継承芸能をより身近に感じてもらえるようにする。「南信州天昇オロチ」は天竜川をモチーフとした演舞であるため、来年度以降は天竜川水域の地域との文化交流にも注力して行きたい。また、人形劇フェスタ・獅子舞フェスティバル・丘のまちフェスティバル以外にも活動の場を広め、積極的にSNSなどの媒体で宣伝をして行く。